

アミーゴ会だより

2016年1月
通巻第25号
季刊 2016-I
www.mex-jpn-amigo.org



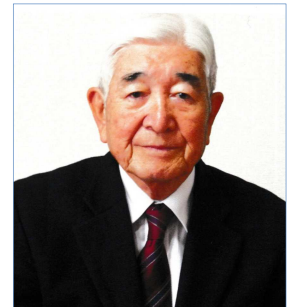
発行人：上原尚剛
編集人：河嶋正之
 鴻巣勝明
事務局：笠井道彦

新年のご挨拶

メキシコ・日本アミーゴ会
会長 上原尚剛

皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様にはご一家お揃いで良いお正月をお迎えの事とお慶び申し上げます。今年が皆様にとって幸多き年となります様祈念して已みません。

昨年は私たちのアミーゴ会が創立 15 周年を迎えましたので、これを記念しての懇親会を 9 月 19 日に、カルロス・アルマーダ駐日メキシコ大使ご夫妻とアルマンド・アリアガ次席をお招きしてお台場の日航ホテルで開催しました。15 年前のアミーゴ会の設立総会とそれに続く懇親会も同じ日航ホテルで 9 月 18 日に開催されていますので、今回の懇親会に参加された 50 名余の会員の皆さんは、アミーゴ会の設立に尽力された今は亡き利光さんや仲村さん達を偲びながら、これまでの歩みを振り返りつつ 2 時間余りの和やかな懇談の後会場を後にされました。



昨年はまた、日本とメキシコとの間で自由貿易協定を含む経済連携協定(EPA)が発効して 10 年を迎えた年でした。この協定によって日本とメキシコとの貿易・投資面での経済的結びつきは質的に変化しつつ一層深くなって来ています。両国間の貿易をより実態を映す双方の輸入統計(出所：JETRO)でみますと、2014 年の日本からメキシコへの輸出は 175 億 4,500 万ドル、メキシコからの輸入は 43 億 1,200 万ドルとなっていて、EPA 発効前の 2004 年の日本からの輸出は 105 億 8,300 万ドル、メキシコからの輸入は 21 億 7,000 万ドルでしたので、いずれも大幅な伸びとなっています。更に注目すべきはメキシコからの輸入品目で、従来は原油、工業用塩、銀、綿花等一次産品が中心でしたが、近年はこれに豚肉、アボカドなど果実等が加わった一次産品に加えて TV などの電気・電子機器、自動車及び同部品などの輸送用機器、コンピューターやガスタービン等の一般・産業用機器等々機械類及び輸送機器が主要な輸入品目になって約 65%を占めている事です。これは EPA の締結によって主として自動車産業への日本からの投資が活発化し、現地での品質の良い部品製造が輸出産業として育って来ている事を伺わせる大変喜ばしい現象と思います。因みに豚肉など食肉は約 10%、アボカドなど果実類は約 5%となっています。

一方、日本からの輸出は全体の約 70%が機械類及び輸送用機器で TV や AV の部品などの電気・電子機器、一般機械・産業機械、自動車・自動車部品などの輸送機器等ですが、これらは中間財などの部品が多く、メキシコで日系企業によって最終製品に組み込まれ米国などへ再輸出されているものです。しかし、日本からの自動車部品工場の進出によりメキシコ国内生産が進んでいる為今後はこれら中間財などの輸出は減少して行くと思われるかもしれませんが、日本企業による技術移転や技術指導など人材育成で寄与することによりメキシコとの結びつきが一層深まることを期待したいと思います。

扱て、アミーゴ会は昨年も色々な活動を行って来ました。総会・懇親会は 3 月 14 日(土)に銀座の ZEST CANTINA で行われ、詳細につきましては 4 月の「アミーゴ会だより」でご報告の通りです。「アミーゴ会だより」は昨年 10 月の設立 15 周年記念号を含め 4 回発行しましたし、今年も昨年同様皆様のお手元にお届けする所存です。日墨学院(リセオ)高校生のホームステイは、一昨年は引き受け先ホストがどうしても集まらず残念ながら諦めざるを得ませんでした。昨年は新しい受け入れ先にもご協力頂く事によって実施する事が出来ました。ご協力頂いたご家庭には改めて御礼申し上げますと共に今年も暖かいご配慮を是非お願い致します。(次頁へ)

= 目次 =

1. 新年のご挨拶	アミーゴ会 会長	上原尚剛	...1	
2. 新年祝賀メッセージ	駐日メキシコ大使	カルロス・アルマーダ	...2	
3. 私とメキシコ：「ウーパールーパー野生種の保護・繁殖活動に協力」		日本ウパールパ協会代表 渡部 久	...3	
4. 私と日本：「リセオ日本文化交流旅行：ホームステイ体験記」		リセオ引率教員&生徒代表	...4	
5. 活動報告：「アミーゴ会西日本の事業報告」	アミーゴ会西日本代表	鹿内峻一	...6	
	「懇親ゴルフ大会の報告」	アミーゴ会幹事	南郷茂伸	...9
6. メキシコへの誘い：「今年こそはメキシコへ！～最新フライト情報」	メキシコ観光	磯辺厚子	...7	
	「レフォルマに並ぶ歴史：銅像でたどる偉人案内(第 2 部-②)」	酒井梢恵	...8	
7. お知らせ：歴史文化講演会の予告(全 5 回；メキシコ史の女性群像)	...5	／	あとがき	...10

歴史文化講演会は昨年は講師の選定などに注力し開催しませんでした、今年は「メキシコの歴史で活躍した女性」をテーマに数回開催すべく準備していますので何卒ご期待下さい。

アミーゴ会西日本では毎年9月中旬のフィエスタ・メヒカーナ大阪に合わせて懇親会を開催していますが、昨年も9月12日(土)に開催され、東京から私が参加してアミーゴ会の現状などを報告して皆さんと懇談して参りました。40人の参加者で歌あり楽器演奏ありで大変活気に溢れた雰囲気、幹部の皆さんの平素のご努力の賜物と感銘を受けました。

会員同士の懇親を深めるゴルフ会は昨年11月12日に川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催され、19名の参加を得てプレー後は参加者皆さんのメキシコ懐旧談に花が咲いて、和気藹々の中で散会されたとの報告がありました。

一方「アミーゴ会だより」の前号で御宿の日本メキシコ学生交流プログラム実行委員会の土屋会長よりご報告頂いたように、御宿では一昨年に続いて昨年もメキシコ全土から公募した10名の学生を招いて、7月11日から8月9日まで30日間日本語研修と日本の伝統・文化を体験させ、最後の10日間はホームステイによる日本家庭での実生活を体験させる等実に効果的なプログラムを準備されました。一行は帰国前日にメキシコ大使館で全員が一人ずつその成果を日本語で発表しましたが、皆さん立派な日本語でスピーチされ、全員の発表が終わると集まった人達から感嘆の拍手が送られました。御宿の場合はその歴史的意義から町としてもメキシコとの交流には積極的で、今後共学生交流は続くと思われまますので、アミーゴ会としましても御宿アミーゴ会との連携を深めながら協力できる事は協力して参りたいと思います。

処で、上に述べました日本とメキシコの貿易の傾向から、両国間の経済関係を考えますと、今後日本からのメキシコへの投資が増え、メキシコへの技術移転や人材育成によりメキシコとの人的交流が益々深まって行く事が考えられます。必然的に日本を訪れるメキシコ人も増えて来ると思われます。従って先の「アミーゴ会だより2015年10月号」でも触れましたが、アミーゴ会としましても在日メキシコ人との交流をもっと真剣に考えるべきだと考えますので、今後理事会で色々な角度から検討して参りたいと思います。

最後になりますが、今年が景気も上向き会員の皆さまにとって良い年になりますよう改めて祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

カルロス・アルマーダ大使 新年祝賀メッセージ

2016年1月

メキシコ・日本アミーゴ会がその創設時から積み重ねてこられた努力とその成果に対して、衷心よりの敬意と祝意を表します。数多くのイベントや講演会を含む様々な活動を介して、メキシコのプロモーションに大きな推進力を与えていただいております。会員各位が有する豊富な経験と優れた能力を発揮されたおかげで、我が国の誇る文化や伝統を大勢の日本人に知っていただくことができしております。





メキシコ大使館が催す各種の文化事業に皆さんのご参加を得ていることを光栄に思います。とりわけ、Fiesta Mexicana in お台場の開催には格段のご尽力を賜り、その盛況が物語る大きな成果に喜びを覚えます。この恒例行事は、音楽や芸術、伝統や観光、料理などメキシコの多彩な魅力を披露する貴重な舞台となっております。回を重ねる中で、日本のお客様方がメキシコの伝統に関心を抱き、出展者や出演者との交流を深め、友好の絆が強まりつつあることを同慶の至りに存じます。

二国間関係の著しい進捗は、今後数年間に及ぶ協力や統合のレベルアップをもたらすことでしょう。ビジネス上の連携強化が進む中で、私たちは文化交流の促進にも注力しています。経済に加えて芸術の分野でも、たくさんの日本人にメキシコの魅力を体感していただく機会を増やすのが目標です。その達成には、皆さんのご助力が不可欠です。引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

来たる新年には、友好協力関係が更に進展し、日本の全国でメキシコへの関心が高まり、イメージの普及拡大が続くことを祈ります。皆さんのご賛同、ご参加に大きな期待を寄せる次第です。敬具 (大使署名)

[メキシコ大使館記]



EMBAJADA DE MÉXICO
Mensaje de Año Nuevo del Embajador Carlos Almada López para la Asociación "Amigo-Kai"


Tokio, Japón, enero de 2016

Quiero expresar mis más sinceras felicitaciones a la Asociación "Amigo-Kai" por sus años de trayectoria, esfuerzo y dedicación, a través de sus innumerables actividades, eventos y presentaciones que han impulsado la promoción de México. Gracias al esfuerzo y experiencia de cada uno de sus miembros, muchos japoneses han podido conocer más la cultura y tradición de nuestro país, con lo cual se ha contribuido a mejorar los lazos de comunicación entre ambos países.

Para la Embajada de México es un honor y un privilegio poder contar con su participación en la difusión de nuestra cultura; en especial, por su apoyo para la celebración, año con año, de la Fiesta Mexicana en Odaiba, la cual ha brindado un escenario importante para la promoción y difusión de México, a través de su música, arte, tradición, turismo y gastronomía. Ello ha acrecentado y renovado los lazos de amistad con la comunidad japonesa, así como fomentado el intercambio cultural, pero sobre todo, el interés por nuestras tradiciones.

Los notables avances en la relación bilateral permiten acrecentar los grados de integración y de cooperación para los próximos años. Gracias a ello hemos logrado lazos más fuertes en los negocios, la cultura y otros rubros, y hemos fortalecido los intercambios culturales. Por esta razón, los invitamos a seguir trabajando e inspirando a cada vez más personas a conocer todo lo que México puede ofrecer en materia económica, cultural y artística.

Esperamos que este próximo año podamos desarrollar aún más nuestros lazos de amistad y cooperación para que podamos llegar a un mayor número de personas y así poder seguir con la promoción de la imagen de México en todo Japón.

Atentamente

Carlos Almada
Embajador

Embajada de México en Japón. 2-15-1, Nagata-cho, Chiyoda-ku, Tokio, Japón, 〒100-0014
Tel (+81-3) 3581-1131. <http://embamex.sre.gob.mx/japon/>

メキシコでのウーパールーパー野生種の 保護・繁殖活動に協力を

会員 NPO法人日本ウパールパ協会代表 渡部 久

「ウーパールーパーの今」と題し昨年10月11日、「アクアリウムバス」で講演を行いました。アクアリウムバスとは熱帯魚、爬虫類、小動物、両生類から水草専門店や、ハンドメイド、アートグッズなど様々なジャンルのお店が集まった生き物関連の即売会で、開催日は2015年10月11日(日曜日)、開催時間は11:00~17:00、開催場所は東京都立産業貿易センター台東館7F、入場料1,000円、小学生以下無料。イベント当日の集客数は2,500人でした。



野生種が絶滅の危機に

私の講演は13:15から約1時間でしたが、たくさんのお客様が熱心に聞き入って下さいました。講演はウーパールーパーのホントの名前から始まり、現在国内で養殖されているカラーの違い(現在は5色)、野生のウーパールーパーの現状、現在月刊アクアライフ(熱帯魚専門誌)にて私が連載している「我らウーパールーパーず」で書いている変わりウーパールーパーについての事や、繁殖形態についてのお話をさせて頂きました。



私がこの講演で一番訴えたかったのが、野生のウーパールーパーの現状です。生息地のソチミルコでは1998年には1kmあたり6,000匹いたウーパールーパーは、2004年には1,000匹、2008年には100匹にまで減少し、最近では3ヶ月に亘る調査で1匹も捕獲できないという危機的な状況になっている現状の事、減少の原因である、水質汚染と外来魚(コイ、ティラピア)による食害の事で、この様な野生ウーパールーパーの置かれている現在の状態をまず知って頂き、野生ウーパールーパー保護活動に少しでも協力して頂ける様にお話しさせて頂きました。

渡部式繁殖技術で絶滅回避へ

講演が終わり、それから1時間も個別に質問を受け、更には講演を聞いて下さった方々が募金箱に並んで野生ウーパールーパーの未来のために募金して下さいました。質問内容の多くは、どの様に絶滅を回避するのかでした。その答えは、私の確立した繁殖技術を使って絶滅回避!です。ウーパールーパーには繁殖期が有るのですが、私の繁殖技術を使えば親に負担を掛けずに周年繁殖が可能になります。

私がウーパールーパーと出会ってから33年、本格的にウーパールーパーの養殖を始めたのが今から18年前で、独自の繁殖スタイルを確たる物にするべく研究を重ね、現在では年間2万匹の生産を可能にしました。

ウーパールーパーとは実は商品名で、今から30年前に日清食品が「焼きそばUFO」のキャラクターとして用いた時に名づけられました。可愛い外見とナイスネーミングで大ブレイクし、ペットとして根強く愛され今日に至ります。本当の名前はメキシコサラマンダー(アホロートル)です(注:サラマンダーとはサンショウウオ)。原産地メキシコ国内においてウーパールーパーはアホロートル(アホロテ ajolote)と呼ばれ、ワシ

ントン条約附属書IIの扱いで保護され、更にはメキシコ国内では絶滅危惧種として保護されています。現在野生下ではソチミルコだけにしか生息していません。

ウパールパは矮性種一名前も短縮

ウパールパとは、ウーパールーパーのショートタイプ(矮性種)なのでウーパールーパー(長音)を取った!で、ウパールパです。

しかし、作出当初、私はバルーンウーパールーパーやダルマウーパールーパーなんてのがいいかなと考えておりました。なんたってまず妻に相談。私はバルーンとかダルマなんか良いと思うんだけど、どう?。すると妻は、普通!面白くない!と簡単にダメ出し。半キレで私は、ジャーなんかいいネーミングあるのかい?と妻に。すると、ウーパールーパーが縮んだからウパールパでしょ!これには参りました、それでウパールパと決定。今を去る事16年前の話です。

ソチミルコの野生種保護活動

そして、ウパールパを通してソチミルコの野生ウーパールーパーの現状を知って頂くためにNPO(NGO)法人日本ウパールパ協会を1年前に設立しました。

私どもNPO法人日本ウパールパ協会は各地(イオン東神奈川店様、フレスポ稲毛様、東京海洋大学様等)にてイベントを行い、野生ウーパールーパーの現状を知って頂く為の啓蒙活動を行うと共に、ソチミルコにてウーパールーパーの保護(野生種の避難所づくり)を行っているNPO法人Restauración Ecológica y Desarrollo A.C.(REDES)に日本で集めた募金を送っています。昨年10月、アミーゴ会副会長の鴻巣様に募金2万円を届けて頂きました。

更にはREDESを支援しているXochimilKids^(注)の森脇音可様に我々と現地との間に入って頂き、活動が大変スムーズに行えるようになりました。森脇様は「ルピータ」というウーパールーパーのゆるキャラの生みの親で、ゆるキャラグランプリにエントリーして総合281位、ご当地192位でした。



次回の私の講演は本年5月1日のアクアリウムバスでと決定いたしました。講演をスタジオ収録しネット、DVDにて配信予定です。イベントや講演等随時受け付けます。賛助会員としてのご入会もお待ちします。

☆日本ウパールパ協会のURL: <http://uparupa.jp/>

☆同上FB: <https://www.facebook.com/npouparupa/>

<了>

【編集部注: XochimilKidsの詳細はwww.xochimilkids.com。山田駐墨大使は7月、ルピータを「交流アミーゴ」に任命】

リセオ日本文化交流旅行：ホームステイ体験記

[編集部注：リセオ(日本メキシコ学院)は毎夏、リセオで学ぶ日本語の錬成と日本文化の理解深化を目的に、高校生選抜グループによる日本文化交流旅行を実施しています。昨夏も生徒20名と引率教員1名が6月28日から7月20日まで日本各地で交流活動を行いました。アミーゴ会の協力要請で男子11名、女子10名を受け入れていただいた13家庭に改めてお礼を申し上げます。掲載しました体験記はリセオ文化センター井上真由美部長のご尽力によります。また、4月号に受け入れ家庭奮闘記を掲載します。]

日本でのホームステイ体験

リセオ教員

ガブリエラ・コルドバ・ノボア

私の名前はガブリエラ・コルドバ・ノボアと申します。日本メキシコ学院の教員です。2015年夏に20名の生徒達と共に美しい国、日本を訪問しました。この素晴らしい旅行の中で、早川恵子さんのお宅にホームステイをさせていただくという貴重な経験をさせていただき、忘れられない素晴らしい体験の一つとなりました。

とても素敵な街並みを眺めながら数々の小道を通り、市場へ向かい魚介類、野菜を買い、ホームステイ宅へ伺いました。ご主人と2名のご友人にお目にかかり、準備していただいたご馳走を堪能した後、茶道体験のために浴衣の着付けをさせていただきました。浴衣を着て3人で鎌倉の大仏を訪問し、記念写真を撮りました。

家に戻り準備していったメキシコの様子が変わる写真を見ていただき、メキシコから持って行ったお土産をお渡ししました。



夜、休む前に

恵子さんは「禅スタイルのお風呂を試してみませんか」と素敵な提案をしてくれました。おかげでとてもリラックスすることができました。

「おやすみなさい。ガビ、明日は朝ごはんを食べた後、海辺に行ってその後お寺を見学しましょう」と言われ、恵子さんが連れて行ってくれた数々の場所の中で、大きな竹が茂る美しい自然の景観と素晴らしい建築のお寺が印象的でした。



恵子さんをはじめお会いした皆さんには大変良くしていただき、感謝の気持ちで一杯です。短い時間ではありましたが、忘れられない素晴らしい思い出となりました。

ありがとうございました。恵子さんにはまたいつかお会いしたいです。

Mi experiencia de homestay en Japón.

Gabriela Córdoba Novoa

Mi nombre es Gabriela Córdoba Novoa y son la profesora del Liceo Mexicano Japonés que tuvo la oportunidad de visitar este hermoso país junto con un grupo de 20 alumnos el pasado verano de 2015, y, como parte de este fabuloso viaje, fui recibida en la estación de Kamakura por Keiko Hayakawa san, una integrante de Shounan International Association que me permitió vivir una de las mejores experiencias que he tenido.

En un corto tiempo me hizo acompañarle por numerosas calles de esta preciosa población, fuimos de compras al mercado, nos abastecimos de pescados, mariscos, verduras y después fui recibida muy cordialmente en su casa donde tuve oportunidad de convivir con su esposo y dos amigas con las cuales se me invitó, además de saborear una



exquisita comida, a asistir a una clase de ceremonia de té para lo cual debería de vestir apropiadamente para participar en ella. Keiko san nos atavió

a las tres para tan solemne ocasión, no sin antes, al dirigirnos a dicha ceremonia, pasamos a conocer el templo del Gran Buda de Kamakura para tomarnos fotos.

Después de participar en esta interesante demostración regresamos a casa donde compartí con ellos fotografías y presentaciones de mi México querido además de ofrecerles algunos regalos tradicionales.

Y para descansar...Keiko tiene una magnífica propuesta: asistir a un baño zen. ¡¡Que relajación!!

Duerme Gaby — me dice — porque mañana, después del desayuno iremos a la playa y a otros templos entre los cuales visité el Templo de los enormes Bambús, bellezas arquitectónicas entre las maravillas de la naturaleza.

No me queda más que agradecerle a Keiko sus magníficas atenciones, que en un solo día me dejó una maravillosa experiencia que nunca olvidaré.

¡¡¡ Mil gracias !!! Espero verte pronto...

思い出深かった日本でのホームステイ

生徒代表

ロミナ・ヒメネス・キム

今年の7月4日に日本メキシコ学院の20名の生徒と先生1名がアミーゴ会の方々のお宅のある鎌倉、御宿、東京都内でホームステイ交流をさせていただきました。大変中身の濃い24時間を過ごすことができました。お寺、海水浴場、公園、地元のお祭り、遊園地の乗り物、展示会、文化発表会、そして日本の伝統的な食べ物等を楽しませていただきました。一番の思い出は受け入れていただいたご家族やそのお知り合いの方々との交流で、皆さんにはとてもよくしていただきました。

メキシコのチアパス州民族衣装を披露する機会や、着物や侍の装束の着付けをしていただいたりしました。また、前回お世話になったリセオの先輩の写真や、メキシコに滞在されていた時に撮影された美しい風景写真を見せていただいたりもしました。

暖かく迎えていただいたことに感謝の気持ちを表しますと共に、皆さんのご厚意に心を打たれました。

本当にありがとうございました。

Un día de HOMESTAY inolvidable en Japón

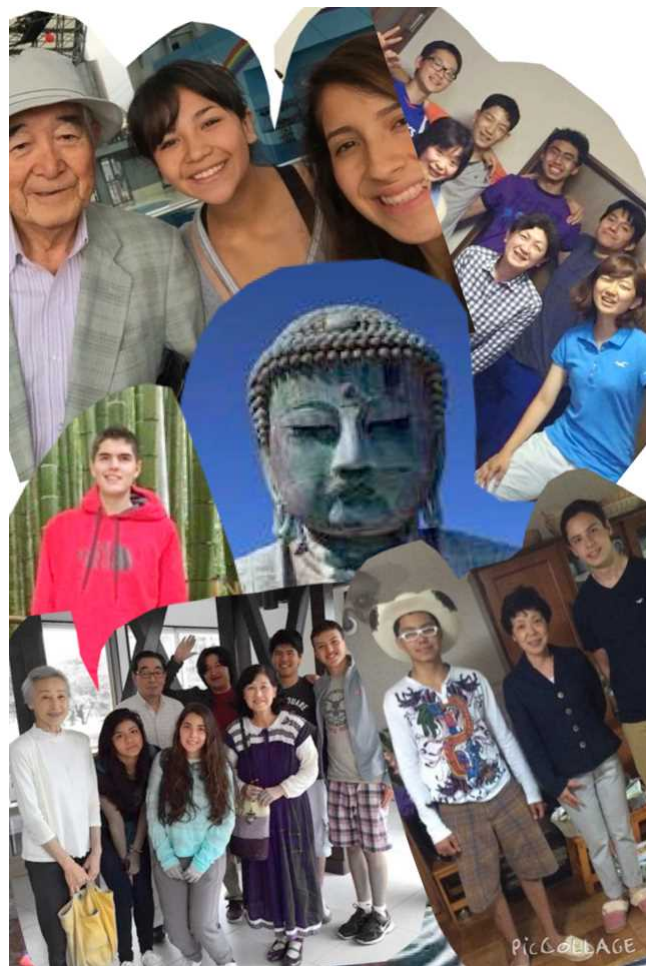
Romina Jiménez Kim

El pasado 4 de julio de 2015, veinte alumnos mexicanos y una profesora acompañante del Liceo Mexicano Japonés, A.C. tuvimos la grata oportunidad de ser invitados por un selecto grupo de personas pertenecientes al Amigo Kai a un día de HOMESTAY en la bella ciudad de Kamakura, Onjyuku y Tokyo, quienes amablemente nos recibieron en sus hogares.

Fueron casi 24 horas de intensas y diversas actividades como: visitas a templos, a playas, jardines, festivales locales, juegos mecánicos, convivencia en exposiciones, demostraciones culturales, saborear la deliciosa comida tradicional japonesa, y principalmente, la maravillosa experiencia de convivir y participar de estos eventos con sus familias y amigos que nos llenaron de atenciones.

Algunos de nosotros pudimos mostrarles la vestimenta tradicional que se porta en danzas típicas mexicanas como la del estado de Chiapas; otros se nos brindaron la oportunidad de ataviarnos con kimonos, con trajes de samurái, o participar en ceremonias de té, a compartir fotografías, de compañeros anteriores e incluso de nuestro hermoso país.

Sólo nos queda agradecerles su cordial bienvenida, su espíritu de servicio y sus magníficas atenciones que quedarán no sólo en nuestras impresiones sino también en nuestros corazones. ¡¡¡ Muchas gracias!!!



お知らせ：2016年メキシコ歴史文化講演会の予告

メキシコ・日本アミーゴ会は2016年の事業として、「メキシコの歴史で活躍した女性たち」を統一テーマに、女性講師による5回シリーズの講演会を下記の通り企画しました。開催時期は2016年4月から8月にかけて毎月1回とし、会場は在日メキシコ大使館別館5階エスパシオ・メヒカーノを予定しています。

詳細が確定次第、アミーゴ会員にはメルマガでご案内します。お見逃しなきようご注意ください。

【各回の演題と講師(敬称略)】

1) 征服期：

「エルナン・コルテスのメキシコ征服と女性たち」

講師：伊藤滋子（ラテンアメリカ歴史研究家）

2) コロニアル期：

「ソル・フアナ＝イネス・デ・ラ・クルス(1648-1697)～修道女・バロック詩人～」(仮題)

講師：田村さと子（帝京大教授、詩人）

3) 改革期：

「メキシコ帝国再建の夢と皇后カルロッタ(1840-1927)」

講師：立岩礼子（京都外大教授、歴史学博士）

4) 近代：

「フリーダ・カーロ(1907-1954)

～画家で女性権利の先駆者～」(仮題)

講師：山本厚子（東京農大・早稲田大講師、ノンフィクション作家）

5) 近現代：

「ロサリオ・カステリャーノ(1925～1974)

～20世紀に活躍した小説家～」(仮題)

講師：洲崎圭子（ジェンダー史研究家）

このようにとても充実した内容の講演会です。おおいにご期待ください。なお参加費は無料の予定です。アミーゴ会メルマガは値千金です!! 一見逃しご注意ください!!

アミーゴ会西日本の事業報告

アミーゴ会西日本 代表 鹿内竣一

2015年度の西日本地区の活動は以下の通りで、主たる事業としては、2月に行った講演会と9月に開催した西日本アミーゴ会の二つが挙げられます。

1) 講演会の開催

開催日：2015年2月5日（木曜日）

場所：大阪市堂島ほたる町“ワインウェアハウス”

参加者数：26名

テーマ：「ラテン諸国での異文化交流」

講師：関西外大 桜井悌司 教授

桜井先生のご講演は、「ラテン諸国での異文化交流」と言うテーマで、ラテン5か国での生活の経験をもとに、ラテン人の生き方やラテンの魅力を語ってもらい、皆さんに大変好評でした。

このご講演の内容につきましては、昨年『アミーゴ会便り 7月号』に別途桜井先生が寄稿されておりますので同誌をご参照下さい。

なおご講演の後は、参加者に食事と飲み物を楽しんで頂きましたが、更に元東京銀行OGの音楽愛好家に、ギターとラテンの歌を歌って頂き、一層楽しく交流を図ることが出来ました。

2) 幹事会の開催

日時：2015年6月9日（火曜日）

場所：大阪ステーションシティ

サウスゲートビルディング“チョコアンドチャーリー”

参加者数：8人

幹事会のテーマ：9月のアミーゴ会西日本懇親会の開催について、また今後の行事等について打合せを行いました。

3) アミーゴ会西日本懇親会（本祭）の開催

これについては別項の報告をご参照下さい。



アミーゴ会西日本懇親会（本祭）報告

2015年度も大阪の梅田のスカイビルで毎年開かれる、フィエスタメヒカーナ大阪（9月11～13日）に合わせて9月11日、アミーゴ会西日本懇親会を開催しました。

アミーゴ会西日本の懇親会は、東京に2年遅れて2003年にスタートしておりますので、今回で13回目の開催となりました。

一昨年は、東京から、鴻巣副会長にお出で頂きましたが、昨年は上原会長にご来場頂きました。上原会長にはアミーゴ会西日本懇親会の第一回目（2003年）にいらして頂いておりますので、今回は13年ぶりのご来阪となりました。

上原会長に、アミーゴ会発足当時の逸話、メキシコのガレオン船の海難救助の史話、またその関係で発足した御宿アミーゴ会について、更にアミーゴ会の諸活動についてお話しを頂戴しました。

今回の参加者数は過去最高の40名に上りましたが、実はこの内の三分の一は関西外大の教授であった桜井先生の大学の子弟の方々で占められ、今回はあたかも桜井先生の同窓会の様な雰囲気もありました。



今回も例年通り、エミリオ・モラレス氏にギター片手に登場してもらいましたが、同氏は既に引退を宣言しておりますので、無理を承知で登場してもらいました。やはり彼の典型的なメキシカンスタイルの風貌は、この会に無くてはならぬ存在ですが、来年以降も登場願えるかどうかは、彼の健康にかかっており、今からは読めません。



エミリオ氏に加えて、素人ながら人前で演奏されている、元東京銀行員の行岡京子さんにもお馴染みのラテンの歌とギター演奏を披露して頂きました。



最後に飛び入りですが、この会に参加したプロの歌手、細川真弓さんに、エミリオ氏のギターをバックにアマポーラを歌って頂き会場が大いに沸きました。



会場が大いに沸きました。

アミーゴ会西日本では幹事の高齢化や、会員

不足の問題を抱えておりますが、13年間に亘って、続いてきたこの懇親会を今後も何とか継続し、当地の会員の方々に楽しんで頂きたいと思っております。

今後共皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<了>



今年こそはメキシコへ!

～最新フライト情報～



会員 メキシコ観光 磯辺 厚子

そろそろメキシコに行きたい! たまにはメキシコに行きたい! アミーゴ会の会員さんならそう思っている方がきっと多い事でしょう。そこで今回は最新フライト情報をお届けいたします。メキシコにアクセスできる航空会社は、現在7社です。アエロメヒコ、アメリカン航空、エアカナダ、デルタ航空、ユナイテッド航空、そして日本航空と全日空です。各航空会社の特徴とフライトスケジュールをご紹介しますので、ご自身に合ったフライトを探してみてください。アエロメヒコ便とエアカナダ便以外は、アメリカで乗り継ぎになりますのでESTA(米国電子渡航認証)取得が必要になります。(メキシコ観光: <http://www.pasela.mexicokanko.co.jp/>)

これらのフライトスケジュールは2015年12月現在のものです、シーズンや曜日によって変わってきます。以前は乗り継げたのに、スケジュール変更で乗り継げなくなるという事もありますので、実際にご利用される際は改めて航空会社や旅行会社にご確認ください。

アエロメヒコ (AM) <スカイチーム>

往路(成田ーメキシコシティ)のノンストップ便に続き、2016年1月12日から復路(メキシコシティー成田)もノンストップになります。さらに、現在週4便運航ですが、4月からは週5便に増便となります。とにかく日本ーメキシコ間直行なので便利です。機材は最新鋭のボーイング787。

往路: 成田 15:25ーメキシコシティ 13:10(AM057)

(月水土日運航/4月から木曜も運航)

復路: メキシコシティ 00:35ー成田: 翌日 16:20(AM058)

(火金土日運航/4月から水曜も運航)

アメリカン航空 (AA) <ワンワールド>

ダラス乗り継ぎで1日2便で毎日運航。AA176便を利用すれば早い時間帯にメキシコに到着できます。就航都市はメキシコシティ、カンクン、レオン、グアダハラ、アグアスカリエンテス、モンテレイ等多数あります。

往路: 成田 11:30ーダラス 08:10(AA176) (成田 18:15

発便もあり)/11:00ーメキシコシティ 13:40(AA393)

(メキシコシティ 19:56 着便もあり)

復路: メキシコシティ 07:50ーダラス 10:34(AA1374)

/12:10ー成田: 翌日 16:45(AA061)

エアカナダ (AC) <スターアライアンス>

バンクーバーまたはトロント乗り継ぎでメキシコシティへ乗り入れています。メキシコシティへの到着時間が23時と遅いのが難点ですが、カナダの入国審査は簡単で荷物もスルーなので乗り継ぎはとても便利です。毎日運航。

往路: 成田 19:00ーバンクーバー 10:40(AC004)/16:00

ーメキシコシティ 23:15(AC996)

復路: メキシコシティ 05:55ーバンクーバー 09:55

(AC997)/13:50ー成田: 翌日 13:50(AC003)

デルタ航空 (DL) <スカイチーム>

往路は成田発アトランタ乗り継ぎと羽田発ロサンゼルス乗り継ぎがあります。羽田発は真夜中なので、仕事を終えたその足で出発可能です。就航都市はメキシコシティ、カンクン、レオン等です。毎日運航。

往路: 羽田 00:10ーロサンゼルス: 前日 18:00(DL636)

/23:00ーメキシコシティ 04:42(DL8020) (羽田出発日と同日に到着)

復路: メキシコシティ 09:45ーロサンゼルス 12:08

(DL7980)/16:50ー羽田: 翌日 22:20(DL637)

ユナイテッド航空 (UA) <スターアライアンス>

ヒューストン乗り継ぎ。メキシコシティへはサンフランシスコ乗り継ぎもあります。就航都市はメキシコシティ、カンクン、オアハカ、レオン、グアダハラ、アグアスカリエンテス、モンテレイ等多数あります。毎日運航。

往路: 成田 17:00ーヒューストン 13:45(UA006)/15:48

ーメキシコシティ 18:05(UA6428)

復路: メキシコシティ 06:20ーヒューストン 08:43

(UA1085)/10:45ー成田: 翌日 15:50(UA006)

全日空 (NH) <スターアライアンス>

2015年6月より成田ーヒューストン線の運航開始。毎日運航。ヒューストンーメキシコ間はユナイテッド航空なので、ユナイテッド同様に乗り継いで多くのメキシコの都市にアクセス可能です。

往路: 成田 10:50ーヒューストン 07:45(NH174)/

14:21ーメキシコシティ 16:39(NH7054) (UA と共同運航)

復路: メキシコシティ 06:20ーヒューストン 08:40

(NH7161) (UA と共同運航)/10:15ー成田: 翌日 15:15

(NH173)

日本航空 (JL) <ワンワールド>

2015年11月30日より成田ーダラス線の運航開始。なぜか便名がかつてのメキシコシティ線と同じJL012便&JL011便。週4便運航。ダラスーメキシコ間はアメリカン航空なので、アメリカン航空同様に乗り継いで多くのメキシコの都市にアクセス可能です。

往路: 成田 10:45ーダラス 07:20(JL012) (月水金日運航)

/09:10ーメキシコシティ 11:54(AA389) (毎日運航)

復路: メキシコシティ 06:00ーダラス 08:40(AA1066)

(毎日運航)/11:45ー成田: 翌日 16:15(JL011) (月水金日運航)

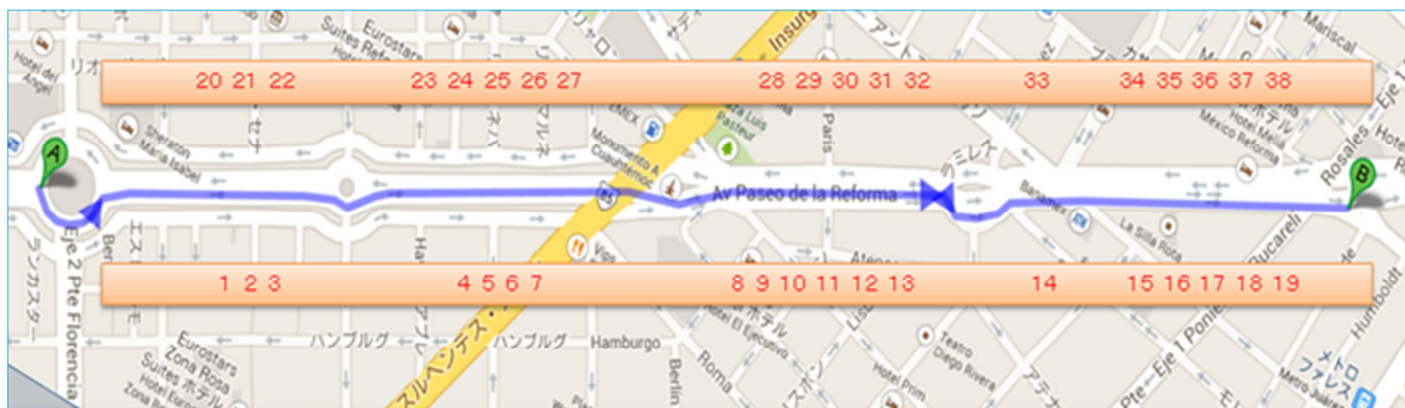
一口知識 航空券の料金は各社間でほとんど差はありません。通常は冬場が安く夏場が高いのですが、最近の傾向としては「込んでいると料金が大きく」なります。いまは多種多様な料金設定があるため、当然安い料金の航空券から空席が無くなっていきます。ですから安いと言われている冬場でも、たまたま込んでいる日にちだと高い料金の航空券しか残っていなかったり、航空会社によって込み状況が違うので料金差があります。また、日本発が土日月、メキシコ発が金土ですと週末料金が掛かりますので、お時間に余裕がある方は平日発着にされた方が良いでしょう。 <了>

レフォルマに並ぶ歴史(第2部-②)

～銅像でたどるメキシコ偉人案内～

前メキシコ観光(メキシコ) 酒井梢恵

[編集部注:「レフォルマに並ぶ歴史～銅像でたどるメキシコ偉人案内」は本誌第16号(2013年10月)より連載が始まり、通常の旅行ガイドでは読めない内容で大好評でしたが、残念ながら連載第7回(第22号2015年4月)で最終回を迎えました。しかし、会員読者から連載再開の熱い要望が多数編集部に寄せられ、筆者の酒井梢恵さんにご無理をお願いしたところ「第2部」として再び連載することができるようになりました。引き続き「メキシコ偉人伝」をお楽しみ下さい。なお、筆者は2015年6月にメキシコ観光を退社し日本で新しい生活をはじめておられることを申し添えます。]



GENERAL DON RAMON CORONA MADRIGAL

(地図中 23)



1837年10月18日、ハリスコ州のPURUAGUAという小さな町の生まれの軍人であり、政治家である。若い頃は商人であったが、この時代の政治の流れが彼をBENITO JUAREZ率いる自由主義派の革命軍への入隊へと導いた。

レフォルマ戦争(1857～1861年)では、1857年に歩兵隊の中尉としてハリスコ州やナジャリ州の戦いに参加した。1865年にそれまでの戦いで活躍が評価されて、遠征軍の旅団長に、翌1866年には師団長の位に就いた。その後BENITO JUAREZによって西部大隊の将軍に任命され、シナロア州とナジャリ州で保守派に対して、数々の勝利を挙げた。

1861年4月にBENITO JUAREZが大統領に就任し、一度は自由主義派の勝利で終わったかと思われたこの戦争も、フランスの干渉によってフランス干渉戦争(1861～1867年)という形で再開された。ナポレオン3世によってハプスブルク家のMAXIMILIANOが傀儡皇帝に据えられ、保守派は皇帝とフランスの後ろ盾を得て再度奮起する。もちろんDON RAMONもこの戦争に参加し、シナロア州での数え切れない戦いに参加する。最終的にはMAXIMILIANO皇帝がケレタロで捕らえられ、銃殺刑に処されて幕を閉じたこの戦いであるが、彼はその最後の瞬間に立ち会った張本人である。それは1867年5月15日に保守派の最後の砦であ

ったケレタロが陥落した翌朝のことである。DON RAMON 他数名の兵隊によって捕らえられた皇帝は、DON RAMON に対し自らの剣を渡し敗北を認めたのであった。その半月後、皇帝MAXIMILIANOは2人の部下とともにCERRO DE LAS CAMPANAS(鐘の丘)で処刑された。

数々の武功を挙げたDON RAMONの最期は穏やかなものではなく、1889年11月11日、グアダハラハラで強盗に遭った際に受けた3つの刃物による切り傷が原因で戻らぬ人となった。

GENERAL DON JESUS GARCIA MORALES

(地図中 15)



1824年8月23日(1823年という説もあり)、ソノラ州ARIZPE生まれの軍人である。若い頃から自由主義派の思想に賛同していた彼は、1838年15歳で士官学校に入学し、1842年、19歳で中尉となった。

1846年と1848年に再度、士官学校へ戻りソノラ州北西部の海辺の町GUAYMASをアメリカ海軍の攻撃から救った。

その後1856年と1857年にはアユトラ革命(1854年)に参加した。この革命における戦いでは、たった118人の軍隊でのPUERTO VIEJOの町の防衛や、州都HERMOSILLOでの11日間の籠城、またYAQUI溪谷やMAYO溪谷の遠征が評価されている。

その後レフォルマ戦争(1857～1861年)においては、BENITO JUAREZ率いる自由主義側についた。

1880年には上院議員に当選し、政治家として活躍するも、その3年後の1883年5月19日にメキシコシティにて、その生涯を終えた。

アユトラ革命

SANTA ANA 大統領の腐敗政治に対して BENITO JUAREZ を筆頭とした自由主義者たちが意義を唱え失脚を訴えた動きである。SANTA ANA はこの時既に11回目の大統領職であったが、それまでの任期の中でも最悪の政治で、国土の一部を独断でアメリカに売却したり、国債を大量に発行したりと国の経済を省みないものであった。この革命により SANTA ANA は失脚し、レフォルマ戦争へと時代は進んでいった。

GENERAL DON LEANDRO VALLE MARTINEZ

(地図中 19)



1833年2月27日、メキシコシティに軍人の子として生まれ、彼自身もレフォルマ戦争を戦い抜いた軍人である。

1844年、弱冠11歳の時にメキシコシティの士官学校に入学し、何と14歳の若さで准尉の階級を得て、この士官学校を卒業した。幼いころから軍人としての才覚に秀でていたのは、この経歴からして説明する

までもない。

時代はレフォルマ戦争に突入し、自由主義派と保守派の間の争いは国土を血の色に染めた。戦いで彼の勇敢な立ち振る舞いにより、26歳という若さにも関わらず、将軍の位まで登りつめた。またこの活躍によりハリスコ州議員選で多くの一般投票を集め、ハリスコ州の議員に選ばれた。

しかし間もなくして自由主義派の同士が保守派のゲリラ兵によって卑怯な手段で暗殺されたことにより、彼は公人としての役目に終止符を打ち、再び戦いに身を置くことを決意した。

1861年4月、BENITO JUAREZ の大統領就任と共に、レフォルマ戦争は自由主義側の勝利ということで一段落した。しかし同年6月に市民戦争によって破壊尽くされたメキシコ州の LAS CRUCES で彼は保守派によって捕えられた。その後は残酷なことに木に吊るされた上で、銃殺刑に処された。享年28歳という短い生涯であった。現在、自由主義を追い求めた彼の遺体は、メキシコシティの PANTEON CIVIL DE DOLORES に眠っている。

※PANTEON CIVIL DE DOLORES 地図 下記参照：

<http://rotonda.segob.gob.mx/en/Rotonda/Localizacion>

DON ANDRES QUINTANA ROO

(地図中 17)

1787年11月30日、ユカタン州のメリダに生まれた。弁護士、詩人、政治家に加えてメキシコ独立戦争

に参加した人物として知られている。

彼の経歴は、地元の進学校 SEMINARIO DE SAN ILDEFONSO への入学から始まった。そこで卓越した



文学の才能をみせ、1808年22歳でメキシコシティへ移り、REAL Y PONTIFICIA UNIVERSIDAD DE MEXICO 大学で法学を専攻し、弁護士の資格を得た。

程なくして、LORENA VICARIO という女性と出会い婚約を交わした。この女性は彼の人生において大きな支えとなり、また彼女との出会いが彼が独立戦争(1810~1821年)に参加するきっかけとなったのである。

1813年、彼はその文才を活かして、独立の父 MIGUEL HIDALGO の跡を継いだ独立戦士 JOSE MARIA MOLEROS がゲレロ州の CHILPANCINGO で開催したチルパンシゴ議会に参加し、「国民意識 (SENTIMIENTO DE LA NACION)(2015年4月号参照)」という自由主義を宣言する文書の作成に携わった。

その後の政界での活躍も幅広く、様々な役職を歴任した。その中でも最高裁判所の司法官と国会での終身議員に選ばれたことは、彼の経歴の中でも特筆すべきことであろう。こうした政治活動を続けた後、1851年4月15日、64歳という若さでその生涯を終えた。

GENERAL DON JUAN ZUAZUA

(地図中 33)



1821年1月6日、ヌエボレオン州の LAMPAZOS 生まれ。米墨戦争(1846~1848年)、レフォルマ戦争(1857~1861年)の時代に活躍した軍人で、若い頃は神学校

SEMINARIO MONTERREY にて農業と商業を学び、一方では独学でメキシコの歴史を研究し、軍隊に関する多くの文献を

読み漁った。そこからさらに興味を広げ、最終的には軍事の専門課程を修め、彼の天職となった。

彼が若い頃のメキシコはサンタ・アナ大統領が治める中央集権型の共和国であった。この時期のメキシコは独立戦争に莫大な力を使い果たした後であったため、北部国境付近まで手が回らず、北部の州はアメリカによる侵略や州内での諍いが絶えず疲弊していた。

例えば、現在のコアウィラ州は11年という短期間であったが、コアウィラ・イ・テハス州(1825~1835年)となり、メキシコのコアウィラ州と現在ではアメリカ合衆国の領土であるテキサス州が一体となっていた時

期もあった。また 1840 年には、テキサスから分離したコアウィラ州と現在のヌエボ・レオン州とタマウリパス州が 1 つになったリオ・グランデ共和国が建国されたりもしたが、結局この共和国は 1 年も持続しなかった。こうした最中にテキサスはアメリカに併合されることとなったのである。

そんな時代の趨勢の中、彼の故郷であるヌエボレオンの大地も北米インディアンのコマンチ族やセミノロ族などの襲撃を受けた。1841 年、20 歳の時、彼はヌエボレオン防衛のために、それまで得た軍事知識を用いて戦いに参加した。

その後 1846～48 年にかけて、メキシコと米国間の北部国境線を巡る主張が異なったために、米墨戦争と呼ばれる国境線を巡る戦いが行われた。この戦い後の国境線がほぼ現在の国境線と一致する。

この米墨戦争は、1846 年 4 月にメキシコ軍とアメリカ軍の小さな争いによって幕を開けた。この戦争の中でも規模が大きいものは、現在のテキサス州で起こった。1846 年 5 月に起こった「PALO ALTO の戦い」と「RASCA DE LA PALMA の戦い」である。彼はこれらの戦いに大尉として参加した。「PALO ALTO の戦い」では、彼らの使った武器は 1 世紀も前のもので軍事力が遥かに劣っていたために、メキシコ軍の方が 3 割ほど兵士が多く、数的有利にあったものの、勝敗を決することが叶わなかった。「RASCA DE LA PALMA の戦い」では、序盤はメキシコ軍も善戦したが、最終的にはアメリカ軍の奇襲により撤退をせざるをえなかった。

これらの戦いは 2 年に渡る戦争の最初期のものであったが、ここからメキシコ軍の巻き返しが起こることはなかった。原因はメキシコ国内の政情不安だったと言える。

最終的に 1848 年 2 月にグアダルルーペ・イダルゴ条約の締結によって、終戦を迎える。しかしこの条約により、メキシコはカリフォルニアやアリゾナをなど、現在のアメリカ南部にあたる 7 州を割譲し、結果として国土の 3 分の 1 を失うこととなった。

米墨戦争でメキシコが割譲した土地

(1848 年 2 月)

カリフォルニア・ネバダ・ユタ・アリゾナ
コロラド・ニューメキシコ・ワイオミング

※テキサスは(1845 年)に割譲済み

これらの土地は戦時中に、テイラー米大統領のカリフォルニアとニューメキシコの買収の申し出に端を発したものであったが、政治的混乱が続いていたメキシコはこの外交を跳ね除けることができず、最終的には当初のアメリカ側の申し出より遥かに広い範囲の土地を手放すことになってしまった。後にカリフォルニアでゴールドラッシュが始まり、テキサスでは油田が発見され、アメリカ経済を大きく後押しすることとなった。この 7 州の買収にあたり、米国が支払ったのは当時の 1825 万ドルと言われている(現在の価値は、この約 70 倍)。

この米墨戦争から約 10 年後、メキシコはレフォルマ戦争へ突入していく。この戦いにおいて、彼は MIGUEL HIDALGO 率いる自由主義側で大佐として戦い、数々の勝利に貢献し、名声を得た。戦いに次ぐ

戦いであった彼の人生の最期はあつけないものであった。政敵による奇襲に遭い、その身を守ることもできないままに息を引き取ったのである。それは 1860 年 7 月 30 日の夜から 31 日にかけてのことであった。

<次号「第 2 部-③」へ続く>

活動報告

懇親ゴルフ大会の報告

担当幹事 南郷茂伸

平成 27 年秋のアミーゴ会親睦ゴルフ大会が 11 月 12 日(木曜)、川崎生田緑地ゴルフコース(旧・川崎国際ゴルフコース)で開催されました。

当日は雨の心配がありましたが、なんとか最後のホール終了するまでもってくれました。残念な事に上原会長は膝痛の為欠席されましたが、19 名が和気あいあいとメキシコ話に盛り上がり、スコアは二の次となりました。成績は以下の通りです。

- ・優勝：前田昭一 86 16.8 69.2
会長杯(上原会長寄贈)
- ・二位：有宗政和 93 19.2 73.8
- ・三位：南郷茂伸 83 8.4 74.6
- ・ラッキーセブン：山形純夫 95 19.2 75.8
- ・ラッキーイレブン：下條宗男 100 21.6 78.4
- ・当日賞 12 位：鴻巣勝明 99 20.4 78.6
アイアンセット(南郷監事寄贈)
- ・BB：田中栄治 / ・ニアピン：古谷昭夫



来年は 4 月頃に料金の安いゴルフ場で行って欲しいとの要望がありました。 <了>

あとがき：新年おめでとうございます。四季報『アミーゴ会だより』は通巻第 25 号を迎え、創刊 7 年目に入ります。アミーゴ会員の皆様のご支援と叱咤激励とを頂戴しながらの 6 年間でした。これからも皆様のご協力を得て「交流誌」として魅力ある誌面づくりに努めます。アミーゴ会も昨年 9 月、創立 15 周年を迎えて新しい時代への第一歩を踏み出しました。これまでの活動実績を礎に、上原会長ご指摘のように、御宿アミーゴ会との連携深化や在日メキシコ人との交流拡大に駒を進める道を探ることになります。メキシコはペニャ・ニエト政権の広範な構造改革が奏功し、変化する国際経済環境下でも安定した軌道を歩んでいます。しかし、「二つのメキシコ」を克服するためには一段の社会改革が必要でしょう。自動車分野で日本企業の進出が著しいバヒオ地区レオン市に 1 月、総領事館が開設されます(第 23 号で既報)。 [か 20151227]